

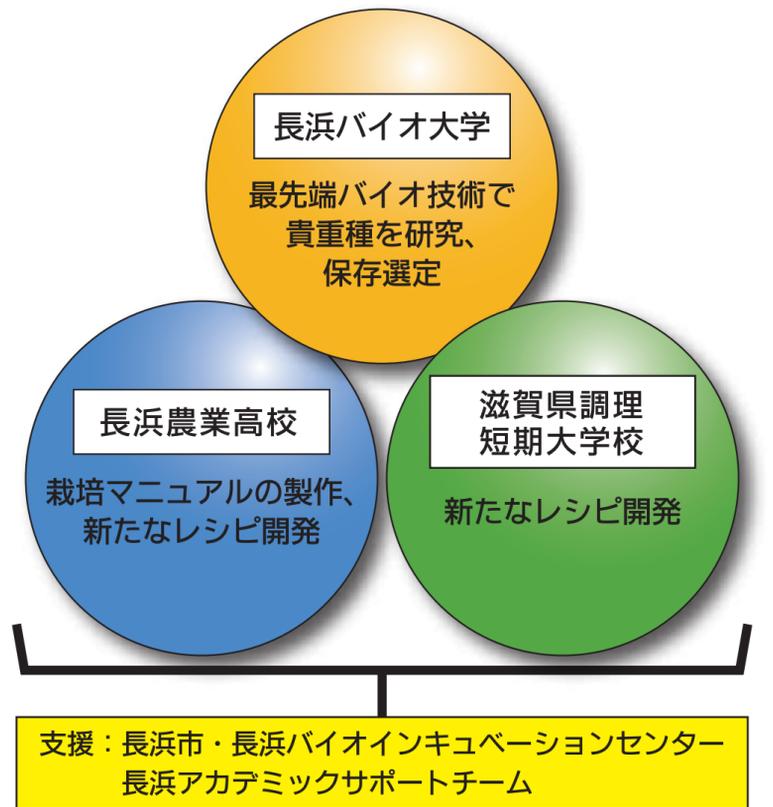


地域伝承野菜「尾上菜」のブランド化

本事業は、長浜市、長浜バイオ大学、長浜農業高校、滋賀県調理短期大学校、長浜バイオインキュベーションセンターが連携し、地域伝承野菜「尾上菜」のブランド化を目指した取り組みです。

この取り組みは、平成29年度文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に採択されたプロジェクトで、長浜バイオ大学は、最先端バイオ技術を使い「尾上菜」の全ゲノム配列解析と生理活性評価により優良系統を選抜します。

長浜農業高校は、栽培のノウハウを記録したマニュアルを作るほか、滋賀県調理短期大学校とともに新たなレシピ開発などにも取り組みます。



尾上菜の栽培開始

(播種日：平成30年9月14日)

長浜農業高校の農業科2年の11人が、長浜バイオ大学から譲り受けた原種に近い遺伝子型を持つ5系統約120粒の種子を育苗トレーに播きました。



尾上菜の露地定植

(播種日：平成30年10月5日)

水やりなどの世話を続け、順調に育った苗を1株ずつトレーから取り出して、校内の畑に丁寧に定植させました。1ヶ月ほどで収穫時期を迎えます。



「尾上菜」とは



長浜市湖北町尾上地区で古くから栽培されてきたアブラナ科の植物で、漬け物や煮物などとして利用されています。

また、血糖値を下げる効果があるとも伝えられており、優良で形質が均一な系統を安定供給できる道が開かれれば、長浜市の特産品として地域振興に貢献が期待されます。